

# オンデマンド・コミュニティ(ODC)

2008年06月

日本アイ・ビー・エム株式会社 社会貢献

# 社会貢献 — 「社会とともに」 重点4分野

基本方針：日本の社会課題に合わせグローバル・プログラムを展開  
IBMのテクノロジーを活用したイノベティブなソリューションを提供

## 教育 (K - 12)

- ・学校・家庭・地域連携教育プロジェクト(三鷹市)
- ・KidSmart(キッズスマート)・MentorPlace(メンター・プレイス)
- ・EWeek(イー・ウィーク) ・EXITE Camp(エキサイト・キャンプ)



## デジタル デバイス 克服

- ・聴覚障害学生のための字幕編集
- ・Web Adaptation Technology
- ・重度障害者・高齢者IT教育支援



## 科学技術 文化

- ・TryScience (Web科学博物館)
- ・エルミタージュ / ピエタ(技術開発)
- ・Eternal Egypt ・日本IBM科学賞



## 社員 ボランティア 活動支援

- ・オンデマンド・コミュニティー
- ・コミュニティー・グランツ
- ・ワールド・コミュニティー・グリッド
- ・リユース PC寄贈支援



# IBMのODC登録者数が10万人を突破しました。

The image displays three screenshots of the IBM Japan website, specifically the 'Press Release' section, dated November 20, 2007. The main headline reads: '約5000人の社員・定年退職者が15万時間のボランティア活動を実施' (Approximately 5,000 employees and retirees performed 150,000 hours of volunteer work). The text highlights that the ODC (Open Development Community) registration has surpassed 100,000 members, a significant milestone for IBM's commitment to social contribution and volunteerism. The screenshots show the layout of the press release, including the title, date, and the main body of text, which is written in Japanese. The website interface includes a navigation bar with links to 'Home', 'About Us', 'Products', 'Services', 'Support', and 'My IBM'. The bottom of the page features a footer with the IBM logo and contact information.

2 | 2008/11/20

# オンデマンド・コミュニティ (ODC) に登録・参加しませんか！！



- お忙しい方へ！今なら社会貢献でODC代行登録しております。  
別紙お申し込み用紙にご記入の上ご返送下さい。(HQ - A27: 社会貢献宛)
- ご登録いただくとボランティア情報満載ODCニュースが定期的に届きます。
- ODC w3 サイトにはボランティア募集情報や活動に役立つ資料がいつも満載です。

# 社員のボランティア活動支援プログラム

全世界のIBMで展開している「オンデマンド・コミュニティ」

【オンデマンド・コミュニティ】

社員の参加を促し、

社会 / ステークホルダーとの関わりを体感

- 対象: 全ての社員、定年退職者
- Webサイト: ボランティア機会の紹介と活動に役立つツールや情報を提供
- コミュニティ・グランツ:  
社員のボランティア活動先に資金やIBM製品を提供

(申請資格: 最低月8時間5ヶ月以上のボランティア活動)

- ボランティア・サービス休暇・休職  
(年間12日間の特別有給休暇)
- 「オンデマンド・コミュニティ賞」  
継続的な活動に対する社長表彰  
(50時間以上のボランティア活動)

登録は社会貢献  
サイトのこちらから



<http://w3.ibm.com/jp/ccr/>

社会貢献ニュース、ボランティア募集ニュース他、掲載しています！

# ODC ボランティア募集情報例

## 教育・科学(社会貢献プロジェクト)

- 三鷹市教員支援(管理職へのコーチング指導)
- キャリア教育
- PC・携帯セキュリティ教育
- PC(Excel・PPT)操作支援
- 小学校の国際交流での通訳



### ➤ EWeek/TryScience

- 地域イベント科学実験教室での実験のガイド
- EWeekでの実験ガイド

### ➤ IBMメンタープレイス メンター

### ➤ IBM KidSmart

- 幼児用パソコンの組立て
- 参加保育園の保育士のための「PC基礎」講師



## コミュニティー・デジタルデバイド・外部からのボランティア活動情報

- 環境シンポジウム-森林保全体験プログラム
- 六本木地区緑化促進活動
- 重度身体障害者施設の入学試験介助
- 点字図書館での英語でのIT操作支援
- 教育委員会での「ホームページビルダー」講座講師
- スペシャル・オリンピックス語学業務
- 地域でのボランティア募集ニュース(東京ボランティア・市民活動センター(TVAC)のウィークリー・ニュース、名古屋地区、関西地区、他のボランティア団体のホームページへのリンクなど)



メンタープレイスをご存知ですか？

岩井 麻子さんインタビュー

社員がメンターとして、eメールを通じて子供達に学業上、行う「メンタープレイス」。教育分野における青少年育成の1つとして、全世界で、すでに6500人以上の児童・生徒が昨年8月から12月末までの期間、女子中学生18名と日本・メンタープレイスに参加し、メールを通じての積極的な交流を有する素敵な中学生のメンターを務めた岩井麻子さんに聞いてお話を伺った。



**岩井麻子(いわい・まこ)**  
2000年入社。STSC(シ  
DB2 UDBを担当してお  
海外の開発部門とのや  
ちなみにオフタイムで  
最近ハマっているとか

メンタープレイスに参加してー岩井麻子さんに聞き

・否：否、それ／＼に参加されたとき、おはは？



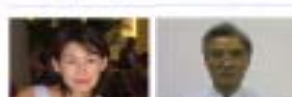
「[ASPのホームページ制作セミナー](#)」  
(登録 無料)



金銭ではなく、「外感」のために同化すること  
-ボリス・ストラスノフスキーの活動-  
(1908-1989年)



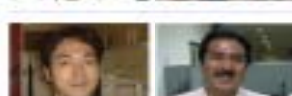
自分によって權に立つことで人の權に立てることを一歩先にとりあげ、主權の心で權をたてたい。



[無罪をしないで見せしめに  
- 日本橋本町の建設現場で -](#)



自分の可能性を広げられる時期がある  
→ 人生で支拂ひの必要のない時がある



とに比べ、半露みけは、エ  
-160の車政経堂で、キ、キ、キ、

2006 Special Olympics World Winter Games Nagano, Japan

 Special Olympics

### 実践事例「できることから始めよう」



・パートナーがボランティア休暇でドミニカ共和国へ！  
「社会貢献」が人生の転機に  
(金子 隆司さん)

スベシヤールのオリジボックス公式ホームページ

スペシャルオリンピックス主要知識

参加者みんなが勝者となる  
SDでは、年齢、性別、競技能力の到達度に応じてクラス分け(ディビジョニング)。1試合同時に水場で戦います。競技会に進んだアスリートは、全員が決勝に進み、順位はつきませんが、全員が表彰を受けます。世界大会も地域大会との競争は存在しません。

**オネスト・エフォートと15%ルール**  
50の公式ルールでは、予選の記録を元に、リザイテーションを正しく付けたために、アノードは全力で競走すること(オネスト・エフォート)が求められています。これに違反した場合は、競技が失格となります。(失格の記録または得点が予選より15%以上良かった場合は、予選で全力を出せなかったとみな

登威加后羊世速多宜

邦彦さん  
(田中さん)

1「オノケーさん、にねら

2 女子中学生との強力な  
パートナー

の夢を育てたい」  
葉教育とサッカーを教

山野保さん、50米ランティア活動への覚悟を語ら！

この2005年50年奉天会のボランティア活動に、旧M社員の皆様も応募されており、今回は、山野保(やまの たけし)さん(ISE、ネットワークシステム)、1998年開業長野県バレーボール選手会に携われたお一人に活動の思い出を伺いました。

98年の長野パラリンピックでお世話になった長野県庁の方々と今も又逢を願っている山野さん。「ニュースでSOO選について知ってから、仕事の調整がつけば、参戦したいと思っていました。」



COMPASS： 山田さんは、今年のSOSホース大会に、ボランティアスタッフとして参加されるとお聞きしました。応募されたきっかけは何でしょうか？

山野さん：スペシャルオリンピックス以下、SOIは、もともと個人的な関心事でした。IBMも公式スポンサーだった1998年開催の長野オリンピックでは、ITスタッフの一員として大会運営に携わりましたので。昨年の春、当社が推進しているODC（On Demand Community Program）にボランティア登録しましたが、仕事のスケジュールの都合もあって、なかなか活動の機会を得ないままでもおりました。そんな折、10月のODCキャンペーン中にボランティア募集の提示板があり、福田達也を通じてスペシャルオリンピックスで国際ボランティアを募集していることを知り、早速、上司に当ボランティア活動参画のための一週間の休暇取得の相談をし、応募しました。

# IBM ODCサイトで紹介されたコミュニティ・グランツ活用事例(一部)

2004年以降既に100名以上の方が、このプログラムを活用し、効果的なボランティア活動を展開されています。

オンデマンド・コミュニティ

こあいさつ はじめての方へ

IBMのコミットメント

オンデマンド・コミュニティとは?

学校への支援

コミュニティへの支援

ボランティア活動支援 (コミュニティ・グランツ)

・コミュニティ・グランツ FAQ

・活用事例

・バックナンバー

体験事例「できることから始めよう」

オンデマンド・コミュニティ ボランティア活動支援(コミュニティ・グランツ)

## コミュニティ・グランツ活用事例 (14)

(退職後に防災団体を発足 現役時代と変わらぬ忙しい日々)

防災ボランティア団体 市民防災ミューチャル・エイド 石原啓次さん



防災ボランティア団体 市民防災ミューチャル・エイド  
石原 啓次さん

退職後に防災団体を発足 現役時代と変わらぬ忙しい日々

「退職後に、何をしたいのか分からない」という石原さん。東京オリンピックが開催された1964年、IBMカスタマー・エンジニアとして入社。年CSTS(現TSOL)へ転籍後、2002年退職。2003年末で完全リタイアしました。67歳の現在、防災ボランティア団体「市民防災ミューチャル・エイド」のリーダーとして高齢者向けに地震対策の出前講座など積極的に活動しています。住まいは千葉県八潮市。居を構えて37年になります。そもそもミューチャル・エイドを発足させたのは、「この地に貢献したい」という思いからでした。そこで何をすべきかという時に、「市に貢献できる人になる」というスローガンを掲げる市

存在を知り、第3期生として2年間受講することに。市政のしくみ、ボランティア活動、情報化社会のしくみ、地域づくりに果たすリーダーの役割などプログラムはバラエティー豊かで、ここまで講座を幅広く網羅した市民大学は、全国でも珍しいそうです。そして、通学するうちに知り合った任意団体「楽習館」のメンバーから防災セミナーへの参加を薦められ、計10回の講習を受講。講習が終わるころ、楽習館から防災団体を作ってみないかと誘われました。「そこで、防災から地域に貢献する方法もあるな、と思ったんです。統計的に近い将来、東海や関東地方に大地震が起きる可能性が高いと言われていますが、それもやる気に火をつけました」

・コミュニティ・グランツ活用事例 (7)

一輪車講習会向け水筒部品のThinkPadを寄付 (高橋 恒雄さん)

・コミュニティ・グランツ活用事例 (8)

一輪車講習会のために提供した特別価格のデジタルカメラThinkPadを寄付 (木村 秀樹さん)

・コミュニティ・グランツ活用事例 (9)

一輪車講習会向け水筒部品のThinkPadを寄付 (宇野 孝治さん)

・コミュニティ・グランツ活用事例 (10)

一輪車講習会向け水筒部品のThinkPadを寄付 (大田 健次郎さん)

・コミュニティ・グランツ活用事例 (11)

一輪車講習会向け水筒部品のThinkPadを寄付 (宇野 孝治さん)

・コミュニティ・グランツ活用事例 (12)

一輪車講習会向け水筒部品のThinkPadを寄付 (高橋 恒雄さん)

・コミュニティ・グランツ活用事例 (13)

一輪車講習会向け水筒部品のThinkPadを寄付 (高橋 恒雄さん)

・コミュニティ・グランツ活用事例 (14)

一輪車講習会向け水筒部品のThinkPadを寄付 (高橋 恒雄さん)

## 成果 登録者・登録時間 – Global, AP & Japan

### 社員登録者数 (% of employee population)

- Global: 84,771 (23.5%)
- AP: 21,780 (22%)
- Japan: 4,444 (26%)

### 定年退職者登録者数 (% of retiree population)

- Global: 11,827 ( 6.5%)
- AP: 902 ( 9%)
- Japan: 656 ( 7%)

### ボランティア活動時間登録時間

- Global: Employee 4,905,658 / Retiree 2,071,453
- AP: Employee 455,829 / Retiree 109,089
- Japan: Employee 85,316 / Retiree 88,871

AS OF 2008/06/04



## 成果 ボランティア・チームづくりとRecogn

### 社会貢献プログラムごとのボランティア・チーム

- トライサイエンス 25名
- キッズスマート 61名
- 教育支援 (三鷹など) 43名
- メンタープレイス 103名
- (ワールド・コミュニティー・グリッド 5,666名)

### ボランティア募集情報の提供

- 提供件数: 2007年 114件
- 社会貢献プログラム関連: 57%

### コミュニティー・グランツ利用件数 <年1回利用可能>

- 2004年 28件 (6/22) / 2005年 34件 (11/23) /  
2006年 27件 (15/12) / 2007年 41件 (20/21) (社員 / 退職者)

### オンデマンド・コミュニティー賞 <Quarterlyの社長表彰>

- 2004年 47名 / 2005年 69名 / 2006年 29名 / 2007年 72名

### ボランティア・サービス休暇活用状況

- 2004年 40名 / 2005年 80名 / 2006年 89名



# Quotes from IBM Volunteers

**“ボランティア活動は、私に計り知れない満足感と、子どもたちや違った人生を歩む人々と働く喜びを与えてくれる。コミュニティーに貢献できるということを榮譽に感じる。また、それは素晴らしい学びでありささやかな経験でもある”**



Chinamy V Abal, IBM India

**“ボランティア活動は、単に社会に貢献することを通じ全く違う世界を見せてくれるだけでなく、仕事のストレスを解消し、日常の世界からの気晴らしをさせてくれる素晴らしい方法でもある”**

Akira Sata, IBM Japan

**“素晴らしい子どもたちのために、何かしてあげられる機会をもてたことは本当にラッキーだったと思う。我々がしてあげられたことはほんのささやかなことかもしれないが、彼らの輝かしい未来のために役**



Yogeswaran Govindarajah, IBM Malaysia